



毎年、ケーブルテレビの新春特別番組の収録があり、新年の抱負を漢字で書くコーナーがあります。昨年は、コロナ禍を乗り切つて新たな暮らしを始めたいという思いで「始」と書きました。昨年5月、3年余りにわたるコロナのトンネルをようやく抜け出しました。徐



▶今年の抱負として書いた「進」の色紙

々に暮らしに活気が戻り、人々の交流も再開され、まちにはこれまで以上のにぎわいを感じられます。

コロナ禍を脱して迎える2024年の漢字は「進」。さまざまな課題に立ち向かいながら、明るい未来へ向けて市を少しでも前に進めていきたいという強い思いを込めて選びました。

今年の干支は「甲辰」。十干の1番目の「甲」と、草木が生長して活力が盛んになる状態を表す十二支の「辰」が合わさり、「いままで準備してきたことが形になる、縁起が良い年」といわれています。

渋川市においても、念願の新美術館が、3月にオープンします。また、上信自動車道渋川西バイパス、国道17号中村交差点の立体化、古巻公民館、渋川駅前広場など、市の躍進に必要な整備が着々と進んでいきます。これらにより、渋川市が大きく「前進」する年になると思います。

皆さまにとりましても、努力が実り、夢の実現が前に進む1年になりますよう、心からお祈りします。